

# 農事組合法人 YONESATA (ヨネサタ) 由宇とまと

おいしいトマトで食卓に笑顔と幸せを届けたい—岩国市由宇町の農事組合法人 YONESATA (よねさた) は、町内でそれぞれの農園を営んでいた米本尚史さん(32)と、佐多正晃さん(34)、父・誠三さん(66)の3人が昨年7月に立ち上げ、「由宇とまと」の栽培に励んでいます。栽培面積は緑に囲まれた由宇川沿いの田園地帯や海沿いのビニールハウス計約60㍍。潮風をふんだん浴びて甘みが凝縮したフルーツトマト「しおねちゃん」をはじめ、品種改良を重ねたミニトマトといった約10種類のトマトを手がけています。収穫の最盛期は5～6月。8月初旬までは丸久グループやマックスバリュなど市内のスーパーに並び、中には農園に直接買いに来る常連さんも。お盆時季から出荷量が減るそうですが、ハウス内を整備して新たな苗を植え、9月後半からの出荷に向け、作業が始まります。

「うちのトマトは甘酸っぱくてクセになる味。トマト好きにはたまらないと思います。旨味が詰まっているのでドレッシングなどで味付けせず、ヘルシーに召し上がっていただけます」と胸を張る正晃さん。

「まだまだ分からないことだらけですが、とにかくトマト作りが好きなので、“このトマトがナンバーワン”といわれるよう腕の良い職人になりたい」と米本さん。ここでは就農を目指す若者たちを全国から受け入れていて、横浜市から来た富永直樹さん(38)もその一人。若者のフレッシュなエネルギーと熟練の知恵やノウハウで丹精込めて作るおいしい由宇とまと。ぜひご賞味下さい。



世界一のトマトを目指して日々奮闘する左から佐田さん、米本さん、富永さん。

# 今、由宇町が赤い!!

## 広島東洋カープ 由宇練習場



カープ球団承認のカープ女子による手作りグッズ! 数に限りがあるので、お気に入りはお早めに♡また、ネットショップ「エムグラネット」で検索を!!

暑い日の応援には、ひんやり冷た〜いかき氷が人気。

広島東洋カープの二軍が本拠地とする由宇球場で今季、一軍絶好調のカープを応援しようと、一塁側の芝生広場も赤いユニフォーム姿などのファンでにぎわっています。試合開催日には、移動型の飲食店舗やカープ球団公認のグッズ売り場も並び、こちらも盛況。観客を楽しませています。由宇球場でお馴染みの「まあちゃんのTACOS 焼き」では、暑い夏にいいかき氷が人気。また、地元の雑貨店「M Gradation」がカープ女子のために作ったかわいいグッズ販売も。シュシュや水玉模様の三角ポーチ、野外でも日焼けを気にせずしっかり応援できるロゴ入りの赤いアームカバー(特殊機能素材)などが女性ファンの心をつかんでいます。次代を担う若鯉の応援に、この夏は熱い由宇球場に出かけよう!!